

# 総合人間科学 情報医学

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	1 人	

## 2 教員の異動状況

谷 重喜（教授）（H14.4.1～9.9.30 助手；H9.10.1～19.3.31 助教授；H19.4.1～23.4.30  
医療情報部准教授；H23.5.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
  - 1. 井口真紀, 大石鮎美, 村上典子, 石川恭子, 熊谷有起, 小池恵史朗, 中澤悠, 鈴木みずえ, 谷重喜, 伊藤友: 歩行動作の多面的評価と解析に基づく高齢者に対する転倒予防方法の意識付け, 日本早期認知症学会誌, 4巻, 2012年

**(2-1) 論文形式のプロシーディングズ**

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
  - 1. 「医療情報システムの堅牢化に関する研究2」第32回医療情報学連合大会, 2012年11月新潟
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

**(2-2) レター**

**(3) 総 説**

**(4) 著 書**

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
  - 1. 医療情報学会, 谷重喜 (分担): 中央診療部門の情報化, 医療情報システム:平成24年4月改定, 篠原出版

**(5) 症例報告**

**4 特許等の出願状況**

	平成24年度
特許取得数 (出願中含む)	0件

**5 医学研究費取得状況**

(万円未満四捨五入)

	平成24年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0件	(0万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件	(0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件	(0万円)
(4) 財団助成金	0件	(0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件	(0万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0件	(0万円)

- (1) 文部科学省科学研究費
- (2) 厚生労働科学研究費
- (3) 他政府機関による研究助成

- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	2 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

### (1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

#### 口頭発表

#### ポスター発表

### (2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
  - 1. 「アドホックネットワークにおけるヘルスケア」 CEATEC JAPAN, 2012 年 10 月 幕張
- 4) 座長をした学会名
  - 1. 第 32 回医療情報学連合大会 (医療情報学会), 2012 年 11 月 新潟

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- 1. 医療情報学会 評議員
- 2. 日本デジタルバイオカラー研究会 理事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	0 件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	0 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

(3) 学内共同研究

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受 賞

(1) 国際的な授賞

(2) 外国からの授与

(3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

## 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

## 15 新聞, 雑誌等による報道